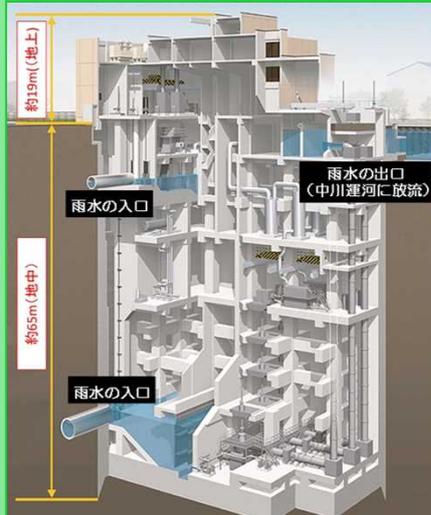


愛知県



広川ポンプ所イメージ図



雨水調整池イメージ



広川ポンプ所 名古屋中央雨水調整池

名古屋駅周辺の浸水対策 ～大雨から名古屋のまちを守る～

名古屋駅周辺地域の浸水被害の軽減を図る

✓ “雨水ポンプ所・雨水調整池の建設” + “河川事業”
両事業を連携して進めることで以下の成果が得られる

- ① 10年に1度の大雨に対応
1時間63mm^{※1}の降雨に対して浸水被害をほぼ解消
※1 名古屋地区における年超過確率1/10の降雨
- ② 異常気象への対応
1時間約100mm^{※2}の降雨でも床上浸水をほぼ解消
※2 名古屋地方気象台における過去最大(H12東海豪雨の1時間雨量相当)

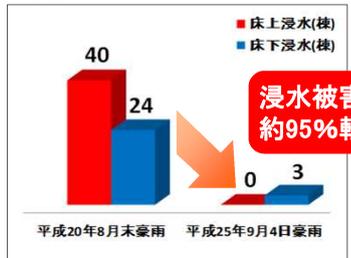
期待される効果

✓ 名古屋駅周辺地域においても大幅な浸水被害軽減
効果が期待される

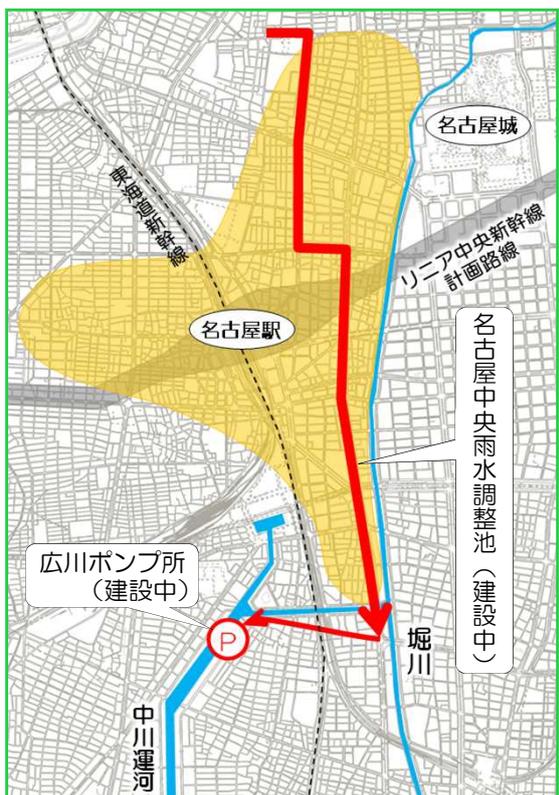
〔名古屋駅周辺地域における平成20年8月末豪雨時の浸水状況
床上浸水 266棟 床下浸水 2,593棟〕

参考

同様の目標で対策を実施した千種区大和地域^{※3}の事例
浸水状況 ※3 平成25年5月に対策完了



平成20年8月末豪雨を受けて、同様の目標で浸水対策を実施し、平成25年5月に対策が完了した千種区大和地域においては、同年9月の同規模の豪雨において、浸水被害が大幅に軽減される効果が得られた。



- 名古屋中央雨水調整池
貯留量：約104,000 m³
管径：5.75m
延長：約5.0km
- 広川ポンプ所
排水量：約10 m³/秒[※]

※全排水量約13m³/秒のうち名古屋駅周辺地域からの排水量